

機械器具 12 理学診療用器具
一般医療機器 弾性ストッキング (JMDN コード : 31724000)

ジョブスト ファローラップ クラシック

*【警告】

<適用対象(患者)>

- * (1) 深部静脈血栓症の患者。[本品を装着すると肺血栓塞栓症を起こすおそれがあるため。]
- (2) 動脈血行障害、うっ血性心不全及び装着部位に炎症性疾患、化膿性疾患、創傷のある患者。
[圧迫により症状が悪化するおそれがあるため。]
- (3) 装着部位に神経障害のある患者。
[血行障害を起こしても認識できないおそれがあるため。]
- (4) 糖尿病患者。
[無症状の神経障害や血行障害を併発している可能性があり、痛み等の異常を認識できないおそれがあるため。]
- (5) 繊維に対して過敏症のある患者。
[接触性皮膚炎を起こすおそれがあるため。]

<使用方法>

医師が必要と認める場合を除き就寝時は着用しないこと。
[臥位になることで静脈還流等に変化が起こり、患者によっては必要以上の圧迫圧がかかるおそれがあるため。]

【禁忌・禁止】

- (1) 重度の動脈血行障害、うっ血性心不全及び有痛性青股腫の患者。
[圧迫により症状を悪化させる危険性が高いため。]
- (2) 感染性静脈炎の患者。
[菌血症や敗血症を発生、増悪させるおそれがあるため。]
- (3) 装着部位に極度の変形を有する患者。
[適正な圧迫圧が得られないため。]

【形状・構造及び原理等】

<構造図(代表図)>

フットピース (レギュラー)	レッグピース (レギュラー)	サイピース (ショート、レギュラー)
		

※サイズは、XS から XL まで 5 サイズある。

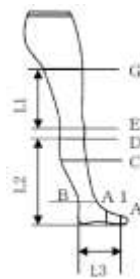
※レッグピース、サイピースには、専用のライナー (スリーブ形状) が 2 本付属する。

1. 規格・寸法

単位: cm

形状		サイズ	XS	S	M	L	XL
フット ピース	レギュラー	足背周径 (A1)	22-24	25-27	28-30	31-34	35-40
		踵から小 指付け根 までの長 さ(L3)	16-17	17-18	19-20	20-21	22-23
レッグ ピース	レギュラー	ふくらはぎ 周径(C)	36-43	42-50	48-58	53-63	58-68
		足首周径 (B)	21-25	25-30	30-36	36-42	42-50
		膝下長さ (L2)	33-37	35-39	37-41	39-43	39-43
サイ ピース	共通	股下周径 (G)	60-70	65-75	70-80	75-90	85-100
		膝上周径 (E)	47-52	53-59	60-66	67-73	74-80
	ショート	股下から 膝上まで の長さ(L1)	16-20	16-20	16-20	16-20	16-20
	レギュラー	膝上まで の長さ(L1)	21-26	21-26	21-26	21-26	21-26

足首部での圧迫圧は 30-40mmHg (40-53hPa)



ライナー種類とサイズ					
シルバーライナー			テリーライナー		
タイプ	サイズ	周径	タイプ	サイズ	周径
ひざ下文用	S	<60	ひざ下文/ 太もも文用	S	<40
	L	60-72		M	40-70
				L	70-120

2. 材質

<本体> 綿、ポリアミド、ポリエステル、ポリウレタン

<面ファスナー> ポリアミド

<ライナー> 形状により以下のいずれかが付属。

- (1) シルバーライナー : ポリアミド、ポリウレタン、銀繊維
- (2) テリーライナー : 綿、ポリウレタン

<原理>

弾性素材が装着部に同心性の圧迫力を加えるとともに、末梢部から中枢に向かって圧迫力が漸減する構造になっている。

【使用目的又は効果】

本品は下肢の静脈血、リンパ液のうっ帯を軽減又は予防する等、静脈還流の促進を目的に使用される医療用の弾性ストッキングである。末梢部を最大に中枢に向かい漸減的に圧力を加える機能を有する。

【使用方法等】

1. 装着前(サイズの決定)

- 1-1 浮腫の発生状況、圧迫する目的に応じ、形状を選択する。
- 1-2 各測定箇所の周径を全て計測し、適正なサイズを選択する。
注: サイズが複数にまたがる場合、基本的に大きいサイズを選択する。

2. 装着方法
- 2-1 専用のライナーを装着する。(フットピースのみの場合は装着しない)
- 2-2 フットピースは、足の踵の部分と合わせ、足の甲、くるぶしの部分と順に引いて面ファスナーで固定、装着する。
- 2-3 レッグピース、サイピースはいずれも製品ロゴの入っている側を脚裏(製品としては外側)にあわせ、一番下(踵に近い側)の部分から面ファスナーで固定、装着する。
- 2-4 フットピース、レッグピース、サイピースを併用するときはずっと先に近い製品から順に装着する。
- 2-5 装着後、脚全体をなで、ねじれやたるみがないようになじませる。

***【使用上の注意】**

<使用注意(次の患者には慎重に適用すること)>

- * (1) 患者との意思疎通が困難な場合には患者の状態をよく観察して使用すること。[動脈及び静脈の血行障害又は神経障害等を発症した際に、発見が遅れるおそれがある。]
- * (2) ギプス、外傷等により装着部位が長時間不動状態にある患者には、注意して使用すること。[潜在的に深部静脈血栓症を発症している可能性がある。]
- (3) 本品の使用により、脚に疼痛、しびれ、皮膚や爪の変色、皮膚温の低下、かゆみ、発疹、かぶれ等の異常及びその他装着前に感じなかった不快感、違和感が生じた場合は、直ちに使用を中止すること。
[動脈および静脈の血行障害又は神経障害等を発症するおそれがある。]

*** <重要な基本的注意>**

- (1) 正しい圧迫圧を得るため、装着部位の規定箇所を必ず計測し、正しいサイズの本品を選択する。またサイズ適応外の場合には使用しないこと。
- (2) 圧迫圧の過不足を防ぐため、たるみやしわのないように装着すること。本品が、装着中にたるんだり、しわが寄ったり、ずり落ちたり、誤った位置に装着されている場合には正しく装着しなおすこと。
[適正な圧迫圧が得られず、また血行障害や神経障害及び圧迫性潰瘍を引き起こすおそれがあるため。]
- (3) 腫脹の軽減等により装着中に各部位の周径が変わった場合は、適切なサイズに変更すること。
- (4) 本品に、破損(ほつれ、破れ等)がないことを確認してから装着すること。破損がある場合は適正な圧迫圧が得られないため使用しないこと。
- * (5) 本品は繊維製品のため、次のような場合には破損することがあるので注意すること。
- ① 強く引き伸ばしての装着
 - ② 爪が伸びていたり、反っていたりする足への装着
 - ③ 肌荒れした手や伸びた指の爪での取扱い
 - ④ 鋭利なものへの接触
 - ⑤ 指輪、プレスレットをつけたままでの装着
- (6) 本品をはさみで切るなど加工、修理を行わないこと
- (7) 本品は圧迫療法に精通した術者が、必ず装着者に使用方法を説明し、正しい装着手順で使用を開始すること。
また患者との意思疎通が困難な場合には、看護、介護介添する者に使用方法を説明すること。
- (8) 軟膏等の薬品や油脂、溶剤等が付着すると繊維が劣化するので付着しないよう注意すること。

- (9) ライナーは、継続使用後、破損、破れなど生じたら新しいものに交換すること。

【保管方法及び有効期限等】

<保管方法>

高温、多湿、直射日光を避け、室温で保管すること。

***【保守・点検に係る事項】**

- * (1) 洗濯は40℃以下のぬるま湯に市販の中性洗剤を溶かして手洗いし、洗濯機は使用しないこと。
- * (2) 乾いた厚手のタオルに包んで脱水すること。
- * (3) 直射日光を避け陰干しにすること。
- * (4) 塩素系の漂白剤の使用、柔軟剤の使用、ドライクリーニング、アイロンがけは生地を傷めるのでしないこと。

****【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売業者：テルモ・ビーエスエヌ株式会社

電話番号：0120-12-8195 テルモ・コールセンター

**外国製造所：ビーエスエヌ メディカル エスエイ デ
シービー

BSN Medical, S.A.de C.V.

**国 名：メキシコ

*販売元：テルモ株式会社

お問い合わせ先：0120-12-8195 テルモ・コールセンター
(9:00～17:45 土・日・祝日を除く)



TERUMO はテルモ株式会社の商標です。
テルモはテルモ株式会社の登録商標です。
ジョブストはビーエスエヌ・メディカル社(ドイツ)の登録商標です。